

## 令和元年度第1回小牧市青年の家運営委員会 議事要旨

【日時】令和元年7月3日（水）

午前10時～午前11時

【会場】小牧市青年の家 講義室

【出席者】東岡委員、増田委員、橋本委員、林委員、佐藤委員、  
船橋委員

【欠席者】渡邊委員

【事務局】鍛冶屋こども未来部長、櫻井こども未来部次長、永井課長、  
河畑指導員、小林係長、平野  
(こまき市民文化財団) 原田マネージャー、川中主査

【傍聴者】なし

【議題】(1) 平成30年度青年の家利用状況について  
(2) 令和元年度青年の家事業計画及び中間報告について

【会議内容】

### 1 こども未来部長あいさつ

小牧市青年の家は、心身ともに健全な青少年の育成を図るための施設として、小牧山の自然に囲まれた好立地、宿泊のできる公共施設という特徴を活かして、各種事業を展開しております。

指定管理者であるこまき市民文化財団は、文化団体、生涯学習団体や市民が連携・協力し、市民がともにつくる文化芸術の振興と生涯学習の推進を図ることを目的に設立されておりますので、今後も、より多くの人に青年の家を知っていただき、利用につなげていけるよう、様々な取り組みをしていただけるものと期待しております。

さて、令和元年度第1回目の青年の家運営委員会ということで、すでに今年度の事業がスタートしているところであります。

本日は、昨年度の実績と本年度の中間報告をさせていただき、皆様からの忌憚のないご意見を頂戴し、今後の施設運営に活かしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

### 林委員長あいさつ

みなさんおはようございます。私達が住む小牧市は、幸いなことに、大きな自然災害が少ない土地であります。いつ何が起こるかはわから

ないので、備えはしていきたいと思います。

こども未来館や図書館のような、新しい施設の話が進んでおります。一方、青年の家は立地条件等特色のある施設ですので、それを活かした、青年の家でしかできないような事業を実施していければと思います。

## 《事務局紹介》

### 2 議題

#### (1) 平成30年度青年の家利用状況について

(事務局)

資料1、2にもとづいて説明。

以下のとおり、意見があった。

(林委員長)

昨年より利用者人数が減っているが、今以上に事業を増やすのは難しいと思うので、普段から市民の方がふらっと立ち寄る、少しでも足を運んでもらえるような仕組みづくりができるとうよいと思います。

#### (2) 令和元年度青年の家事業計画及び中間報告について

(事務局)

資料3にもとづいて説明。

以下のとおり、質疑応答があった。

(増田委員)

寺子屋について、定員がないなら市内全校にチラシを配布してはどうでしょうか。

(事務局)

国道41号線をこえるなど、遠くからくることになる参加者の交通安全に配慮して、現在は近隣校のみ配布しています。

(増田委員)

参加者の子どもは1人で青年の家までできますか。

(事務局)

保護者に送迎をお願いしています。

(増田委員)

子どもだけで大きい道路を渡ってくるのは不安がありますが、保護者に送迎をお願いできるのであれば、全校配布を検討していただけるとありがたいです。

(林委員長)

ココボラの方もきて異年齢で交流できる機会でもありますので、ぜひいろんな方に参加していただけるようにしてもらえるとよいと思います。

(東岡委員)

れきしるこまきもオープンし、タイアップした新しい講座があるのはよいと思います。また、応募開始時間から40分で定員が埋まるなど、この講座への関心の高さもうかがえるので、ニーズに基づいた、これに続く講座ができるとよいと思います。

今回の募集が非常に人気であった理由は何かわかりますか。

(事務局)

れきしるがオープンし、市をあげて小牧山の魅力を発信したことにより、市民の方の小牧山への関心が高まっていること、自然観察と標本づくりの2本立てで一日体験ができることが人気に繋がったのかと思います。

(東岡委員)

どのように受講生募集の発信をしましたか。

(事務局)

広報こまきへの掲載と、市内の学校と公共施設へのチラシの配布を行いました。昨日応募があった方は、広報こまきで知っていただいた方がほとんどでした。

(東岡委員)

先着順だと情報を手に入れた時期によっては、今回のようにすぐに定員が埋まると申し込めないこともあると思います。市民の関心も高いので、チラシの配布時期等で不公平にならないように気を配るとよいと思います。

(橋本委員)

青年の家フェスティバルについて、雨天中止になったことがあったので、何とか開催したいと思います。れきしるこまきとタイアップしてチラシを設置するなど、はやめにPRをしていくとよいと思います。

また、アイトワの状況はどうか。

(事務局)

昨年同様、利用者は多いです。

(佐藤委員)

今年度2月の計画から青年講座を減らした理由はなんですか。

(事務局)

青年講座では陶芸を予定しておりましたが、講師日程の都合上、今年度は開催が難しく見送りました。一定のニーズが見込まれるものにつきましては、今後も積極的に展開していきたいと考えております。

(林委員長)

講座の数を増やすのは難しいと思いますが、人気講座も多く、もったいないと思います。自然観察のような、虫や植物の紹介を、職員から青年の家に来た方に普段からできると、青年の家の利用者も増え、よいと思います。

### 3 報告

- ・ 青年の家の敷地内禁煙の実施について
- ・ 青年の家使用料の変更について

(事務局)

資料4にもとづいて説明。

### 4 その他

(橋本委員)

青年の家の電線付近に生い茂った木があるので、台風の時期より前に対応をしていただけるとありがたいです。